

令和7年度 学校評価（最終）について

1 本校職員による評価

- (1) 対象：本校教職員 74 人（管理職，一部事務職員，看護師，休職中職員を除く）
- (2) 実施期間：令和7年12月1日（月）～令和7年12月17日（水）
- (3) 内容：16 の評価項目（6 のカテゴリ）
- (4) 評価方法

- ア 4段階評価「A・B・C・D」（表1，表2参照）
- イ 評価（判断）が困難な項目に関しては，「無回答：N」とする。

表1 評価基準表①

評価	評価基準
A	<p>（実施「済」，かつ，ねらい「十分達成」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 予定された取組が，計画的に（年間の分掌計画に掲げたとおり）実施され，ねらいの80%以上が達成されている。
B	<p>（実施「済」，かつ，ねらい「まあまあ達成」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 予定された取組が，計画的に（年間の分掌計画に掲げたとおり）実施され，ねらいの50%以上80%未満が達成されている。 <p>（実施：「未」，かつ，計画性「十分」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今後，実施予定の取組（現段階では計画進行中のため未実施である）に関する計画が，現時点で年度初めの分掌計画に基づき，係での検討や職員への提案・周知がなされ，進められている。
C	<p>（実施：「済」，かつ，ねらい「やや未達成」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 予定された取組が，計画的に（年間の分掌計画に掲げたとおり）実施され，ねらいの20%以上50%未満が達成されている。 <p>（実施：「未」，かつ，計画性「やや十分」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今後，実施予定の取組（現段階では計画進行中のため未実施である）に関する計画が，現時点で進められつつある。
D	<p>（実施：「済」，かつ，ねらい「未達成」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 予定された取組が，計画的に（年間の分掌計画に掲げたとおり）実施され，現時点でねらいが19%未満達成されている。 ○ 予定された取組が，実施時期を逃して未実施の状況にある。 <p>（実施：「未」，かつ，計画性「不十分」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 重点取組事項の具体的な取組が，校務分掌の係業務として年間計画（校務分掌報告会資料）に反映されていない。（年度当初から計画されていない。） ○ 大幅な改善が必要である。
N	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実施状況や計画の進捗よくが「分からない」若しくは，上記の判断ができない場合は「N」と回答する。 無回答。

表2 評価基準表②

	実施 （実施済み～取組進行中）	未実施 （計画進行中～今後実施）
80%～100% 達成	A	B
50%～80%未満 達成	B	C
20%～50%未満 達成	C	D
20%未満 達成	D	

すでに実施済みの取組や進行中の取組に関しては，こちらの基準（4段階）で評価する。

今後，実施予定の取組や現在計画進行中の取組に関しては，こちらの基準（3段階）で評価する。※未実施ということで，「A」は付かない。

(5) 集計結果

- ア 回収率：100%（74人）（管理職，一般事務職員，看護師，休職中職員は除く）
- イ 記述式で回答している職員（各支援教室職員）については，割合の中に含めることができないので，スケールで回答している職員で割合になる（63人の回答割合）。
- ウ 課題項目，成果項目について
 - (7) C，Dの評価が全体の20%以上・・・課題項目
 - (イ) Aの評価が全体の33%以上，またはAB合わせた評価が全体の90%以上・・・成果項目
 - (ウ) Aの評価が全体の33%未満・・・成果項目を目指す項目

		上段：中間 下段：最終	A の割合	AB の割合	CD の割合
教育公務員としての責任・自覚 (経営方針1)	①	・ 学校全体として、人権尊重の教育のもと、教職員として、適切な言動に努めているか？	45.2%	96.8%	3.2%
			55.6%	96.9%	3.1%
	②	・ 学校全体として、教育公務員としての責任と自覚をもち、服務規律の厳正確保に努めているか？	82.3%	98.4%	1.6%
			71.4%	100%	0.0%
業務改善への取組 (経営方針1) (県の重点取組事項)	③	・ 学校全体として、適正な勤務時間(定時退庁日、時間外勤務月45時間以内)を意識し、やるべきことに優先順位を付け、計画的に業務を行うことができているか？ (重点取組事項1)	25.8%	91.9%	8.1%
			39.7%	92.1%	7.9%
	④	・ 学校全体として、教材研究の時間を確保し、データ整理や教材の共有化などの工夫を行いながら、効率的な授業準備がなされているか？(重点取組事項1)	35.5%	92.0%	6.5%
			34.9%	96.8%	3.2%
安心して学べる教育環境の整備・改善 (経営方針2)	⑤	・ 学校全体として、ヒヤリハット事例を情報共有し、再発防止のための対策や改善策に努めているか？	64.5%	96.8%	3.2%
			63.5%	95.2%	4.8%
	⑥	・ 学校全体として、教室や学習の場、校外の施設などの整備・点検を行い、安心・安全な教育環境の改善に努めているか？(重点取組事項2)	48.4%	90.3%	9.7%
			52.4%	95.3%	4.7%
一人一人の教育的ニーズに応える指導の充実 (経営方針3)	⑦	・ 学校全体として、一人一人の教育的ニーズを踏まえ、個別の指導計画を活用した授業づくりを行っているか？ (重点取組事項3)	35.5%	96.8%	1.6%
			39.7%	93.7%	3.2%
	⑧	・ 学校全体として、ICTの活用による主体的・対話的で深い学びを目指した授業実践の充実が図れているか？ (重点取組事項3)	25.8%	90.3%	8.1%
			39.7%	93.7%	6.3%
	⑨	・ 学校全体として、基本的な感染症対策に努め、様々な人的・物的資源の活用方法を工夫しながら、教育活動に取り入れることができたか。	51.6%	100%	0.0%
			74.6%	100%	0.0%
児童生徒一人一人の自己有用感の醸成につながる教育課程の編成 (経営方針4)	⑩	・ 本校の教育課程は、目指す資質・能力が示す三つの柱を明確に提示してあるか。【知識・技能】【思考力・判断力・表現力等】【学びに向かう力、人間性等】 (重点取組事項4)	46.8%	95.2%	1.6%
			58.7%	98.4%	0.0%
	⑪	・ 本校の教育課程は、一人一人が自分の役割を自覚し、担うことができる教育活動の推進がされているか。 (重点取組事項4)	32.3%	96.8%	0.0%
			54.0%	98.4%	0.0%
	⑫	・ 学校全体として、将来の自立と社会参加に向け、児童生徒が自己選択・自己決定する機会の充実を図っているか？ (重点取組事項4)	43.5%	98.4%	0.0%
			57.1%	96.8%	1.6%
家庭・関係機関等との協力・連携 (経営方針5)	⑬	・ 学校は、進路先の課題に基づく指導内容・指導方法の見直しをしながら、各学部における進路指導に努めているか？(重点取組事項5)	53.2%	98.4%	0.0%
			60.3%	98.4%	0.0%
	⑭	・ 学校全体として、児童生徒の健康の保持・増進(生活リズム、食に関する事項、運動の習慣化、余暇活動等)のための取組を家庭や学園等と連携して行っているか？ (重点取組事項5)	46.8%	92.0%	8.0%
			49.2%	98.4%	1.6%
本校における教育活動の理解・啓発 (経営方針6)	⑮	・ 学校は、センター的機能の充実を図るための取組(巡回相談、学校見学)を企画・運営し、本校の教育活動の理解・啓発に努めているか？ (重点取組事項6)	69.4%	100%	0.0%
			69.8%	98.6%	1.6%
	⑯	・ 学校は、ホームページの定期的な更新を行い、本校の教育活動の理解と啓発に努めているか？(重点取組事項6)	62.9%	100%	0.0%
			66.7%	100%	0.0%

※ AB+CD=100%にならない項目は、N評価を含む。

(6) 集計結果を受けて

評価の数値や記述の内容を参考にし、結果の考察を行う。また、係を中心に、来年度に向けての取組を考える。さらに、来年度の学校経営方針や重点取組事項について検討を行う。

ア C, Dの評価が20%以上の項目 ※ 課題項目…具体的な対応が必要 → ※ 該当項目なし

イ Aの評価が33%以上の項目またはAB合わせた評価が全体の90%以上

※ 成果項目…さらに評価が上がるように取り組んでいく。 → ※ 16項目/16項目中

ウ Aの評価が33%未満の項目 ※ 成果項目を目指す必要がある → ※ 該当項目なし

(7) 学校経営方針について

項 目
1 教育公務員として使命を自覚し、資質の向上に努めるとともに、お互いの人権を尊重し、相互の信頼と協力により、教育目標の達成を図る。
2 生命と人権を尊重し、健康で安心・安全に学べる環境作りに努める。
3 児童生徒のよさや可能性を伸ばし、一人一人の教育的ニーズに応じた教育を行う。
4 新学習指導要領における育成を目指す資質・能力が示す三つの柱を踏まえ、持続可能な社会の実現のために児童生徒一人一人の自己有用感の醸成につながる教育課程を編成する。
5 家庭や地域、関係機関と連携して指導・支援の共有化を図ることを通して、児童生徒の教育的効果の向上を目指す。
6 インクルーシブ教育の推進に向けて、大島地区唯一の特別支援学校としてセンター的役割を充実させ、特別支援教育の理念の浸透と本校教育活動の理解・啓発を推進する。

(8) 重点取組事項 項目ごとの評価 ※ ○内の番号は、関連する評価項目番号

重点取組事項
1 お互いの人権を尊重し、相互の信頼・協力を基盤とした働きやすい環境の改善・整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学部・校務分掌を超えた相互協力関係の構築 ・ より質の高い教育のための業務改善 ・ 授業準備・教材研究の時間確保、チーム力による効率的な業務推進 ①③④
2 安心・安全で学びやすく健康的な教育環境の整備・充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教室や学習の場の整理整頓及び安全点検の徹底・改善 ・ 人権を尊重した指導（言葉遣い）や生活年齢に応じたかかわりに関する指導（性・生命の指導など）の推進 ⑤⑥
3 児童生徒の能力や特性等を踏まえた適切な教育の追求 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「個別の指導計画」を活用した授業づくりの推進 ・ ICTの活用による主体的・対話的で深い学びを目指した授業実践の充実 ⑦⑧
4 目指す資質・能力とともに、社会のニーズを踏まえた適切な教育の追求 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自らの課題に気付き、改善に向けた実践につながる教育課程の工夫 ・ 一人一人が自分の役割を自覚し、担うことのできる教育活動の推進 ・ 進路先等の課題に基づく指導内容・指導方法の見直し（各学部での実施） ・ 進路に関する自己選択・自己決定につながる取組の充実 ⑩⑪⑫⑬
5 関係機関との連携強化による教育効果の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 進路先や実習先の選択肢を増やすための取組 ・ 家庭や学園等と連携し、共通した取組による指導効果の向上 ⑭
6 特別支援教育のセンター的機能の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 巡回相談等による特別支援教育の理解促進と適切な助言 ・ だれでも特別支援コーディネーターとして他校への支援や助言ができるようにするための取組（コーディネーター養成研修の受講、巡回相談等への積極的な同行研修の実施、巡回相談等の報告の校内での情報共有） ・ 各係によるホームページ等での本校教育活動の理解・啓発の継続 ⑮⑯
7 【その他】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県特別支援教育研究会（県特研）大島大会で授業提供、及び授業力向上プロジェクトの公開を通して資質向上を図るとともに、本校および特別支援教育への理解啓発を図る

(9) 成果及び課題等

- ・ 最終評価では、A評価が33%以上、または、AB合わせた評価が90%以上となった項目が16項目全ての項目で「成果項目」となった。
- ・ <成果> 中間評価と比較して、最もA評価が伸びた項目が⑨「基本的な感染症対策に努め、様々な人的・物的資源の活用方法を工夫しながら、教育活動に取り入れることができたか。」(23%増)であった。日頃の感染症対策や水分補給の呼び掛けに加え、外部講師やゲストティーチャーなどの人的資源が活用された結果となった。
- ・ <課題> A評価の割合が一番低かったのが、④「教材研究の時間を確保しながら、データ整理や教材の共有化などの工夫を行いながら、効率的な授業準備がなされているか。」であった。CD評価の割合が令和6年度と比較すると減少しているが、学部共有フォルダを学習指導係が

中心となり作成，データ保存と共有ができるようにしていく。

(10) 来年度に向けての取組（継続事項も含む）

すべての項目について，来年度に向けての取組等を検討した。

項目	来年度に向けての取組（継続事項も含む）
① 学校全体として，人権尊重の教育のもと，教職員として，適切な言動に努めているか。	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き，人権同和教育研修を行う。（夏季休業中） 人権ヒヤリハットやハラスメント委員会の充実を図っていく。 12月4日から10日まで人権週間での呼び掛けを行い，人権意識を高められるようにする。
② 学校全体として，教育公務員としての責任と自覚をもち，服務規律の厳正確保に努めているか。	<ul style="list-style-type: none"> 教育公務員としての責任と自覚を促すことができるように，職員会議，職員朝会，See-Smileによる情報発信，チェックリストによる振り返りやサービスファイルの活用呼び掛けを行う。 服務規律に関する研修は，職員一人一人が自分事として考えることができる内容を計画する。
③ 学校全体として，適正な勤務時間（定時退庁日，時間外勤務月45時間以内）を意識し，やるべきことに優先順位を付け，計画的に業務を行うことができているか。	<ul style="list-style-type: none"> 会議等の資料を予め配付することで，会議の時間短縮を図ったり，内容によっては紙面報告での実施にしたりすることで効率化し，教材研究等の時間を生み出す。 今後も朝の打合せの時間や回数を精選したり，業務を係内で分担したりして時間内に退庁できるように工夫する。
④ 学校全体として，教材研究の時間を確保し，データ整理や教材の共有化などの工夫を行いながら，効率的な授業準備がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒用タブレット端末に必要なデータを保存しておき，引継ぎ等で効率的に行えるようにする。 グーグルドライブに学部共有フォルダを作成し，keynote等の保存ができるようにする。
⑤ 学校全体として，ヒヤリハット事例を情報共有し，再発防止のための対策や改善策に努めているか。	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハットを出すことは，悪いことではない雰囲気づくりと共に，ヒヤリハットの書式の見直しを行う。 主事等で話題にし，遅くとも次の日には情報を共有できるようにする。
⑥ 学校全体として，教室や学習の場，校外の施設などの整備・点検を行い，安心・安全な教育環境の改善に努めているか。	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に職員作業を設定し，全職員で取り組む体制を作る。 安全点検後，係が事務と連携を図り，必要に応じて速やかな修理等を依頼する。
⑦ 学校全体として，一人一人の教育的ニーズを踏まえ，個別の指導計画を活用した授業づくりを行っているか。	<ul style="list-style-type: none"> ケース会等で個別の指導計画をチェックしたり，通知表とリンクした目標と手立てを見直したりする。
⑧ 学校全体として，ICTの活用による主体的・対話的で深い学びを目指した授業実践の充実が図れているか。	<ul style="list-style-type: none"> ICT支援員の来校日を事前に行事予定に入れたり，係が呼び掛けたりして活用を促す。 どの場面でICTを活用することで，授業のねらいが達成できるのか，計画する段階で検討する。 職員研修を重ねていき，児童生徒への指導に生かす。
⑨ 学校全体として基本的な感染症対策に努め，様々な人的・物的資源の活用方法を工夫しながら，教育活動に取り入れることができたか。	<ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き，基本的な感染症対策を行う。 ゲストティーチャーなどの外部講師（人的資源の活用）の予算等については，事務と相談しながら進める。
⑩ 本校の教育課程は，目指す資質・能力が示す三つの柱を明確に提示してあるか。	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程係を中心として，教育課程の編成及び評価を行う。 テーマ研修とともに，PDCAサイクルの中で，修正していきながら教育課程編成を行う。
⑪ 本校の教育課程は，一人一人が自分の役割を自覚し，担うことができる教育課程の推進がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き，児童生徒の主体性を伸ばしながら，教師側のねらい・ポイントを押さえて授業を展開する。

⑫ 学校全体として、将来の自立と社会参加に向け、児童生徒が自己選択・自己決定する機会の充実を図っているか。	<ul style="list-style-type: none"> 今後も児童生徒の実態の応じた自己選択・自己決定できる場面を設定する。 進路を見据えたキャリア教育の視点から小中高の各段階で必要な力を身に付けさせる。
⑬ 学校は、進路先の課題に基づく指導内容・指導方法の見直しをしながら、各学部における進路指導に努めているか。	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、進路便りはホームページとともに安心・安全メールでも配信を行う。 教育課程のキャリア教育全体計画を確認したり、引き続き、職員研修や学習会を実施したりして、意識を高める。
⑭ 学校全体として、児童生徒の健康の保持・増進のための取組を家庭や学園等と連携して行っているか。	<ul style="list-style-type: none"> 保健指導係や養護教諭と連携を図り、保護者への呼び掛け等を行う。 必要に応じて、学部主事や管理職に相談しながらチームで対応し、一学級の担任で背負わない体制づくりに努める。
⑮ 学校は、センター的機能の充実を図るための取組を企画・運営し、本校の教育活動の理解・啓発に努めているか。	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、巡回相談や就学相談、学校見学等を実施し、支援をつないでいく。 学校見学の際は、可能な限り希望する教科等の見学ができるように日程調整をする。
⑯ 学校は、ホームページの定期的な更新を行い、本校の教育活動の理解と啓発に努めているか。	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、教務より係のチーフへ記事の更新を呼び掛ける。係内で担当者を決めたり、輪番制にしたりして校務の負担にならないようにする。 高等部便りでは、発行している各支援教室の様子をホームページに掲載できるように連携を図りながら発信する。

2 保護者・学園職員・寮職員による評価

(1) 対象 : 本校の保護者(児童生徒数122人分)、希望の星学園職員、白百合の寮職員

(2) 実施期間 : 令和7年12月1日(月)～令和8年1月8日(木)

(3) 内容 : 11の評価項目

(4) 評価方法 : 4段階評価「4・3・2・1」と「0」

(5) 集計結果

ア 回収率 : 92.6% (113人) 昨年度 86.4%

イ 項目ごとの集計結果について

<評価基準> 4:そう思う 3:ややそう思う 2:あまりそう思わない 1:そう思わない 0:分からない

評価項目	評価の視点	平均値	評価(内訳)					計
			4	3	2	1	0	
目指す学校の姿	学校は、児童生徒、職員共に楽しく生き生きと学べる場になっていると思いますか?	3.75	90	20	1	1	1	113
	学校は、一人一人の教育的ニーズに応じて、児童生徒のよさや可能性をのばすための教育が行われていると感じますか?	3.68	86	21	3	2	1	113
	学校は、児童生徒一人一人がもてる力を存分に発揮できる場になっていると思いますか?	3.65	83	23	5	1	1	113
	学校は、保護者や地域と力を合わせて、教育活動を行っていると思いますか?	3.69	82	28	2	0	1	113
	学校は、将来の進路の選択のために必要な情報を提供していますか?(安心メールによる進路便り配信、ホームページ更新等)	3.7	80	30	2	0	0	112
目指す子どもの姿	お子さんは、以前よりも生活に活用できる力が身に付いてきたと感じますか?(新たにできるようになったこと、得意なこと、好きなことの活用等)	3.68	79	31	3	0	0	113
	お子さんは、自分らしく学校生活を送っていると感じますか?	3.64	86	18	4	1	3	112
	お子さんの主体性が、以前よりも育ってきたと感じますか?(自分から考えて行動する姿や意思表示、自我の芽生え等)	3.54	72	33	4	1	2	112
目指す教師の姿	職員は、児童生徒に寄り添いながら教育活動を行っていますか?	3.71	90	17	4	0	2	113
	職員は、児童生徒の発達段階や本人・保護者の願いを踏まえ、教育活動を行っていますか?	3.71	87	21	4	0	1	113
	職員は、児童生徒のことで連絡や相談をしたときに適切な対応を行っていますか?	3.77	91	20	1	0	1	113

(6) 成果及び課題等

- ・ 全体的に好意的な評価をいただいております、平均点 3.68 (4 点満点中) と高かった。
- ・ <成果> 4 点評価が最も多かった項目は、⑩「職員は、児童生徒のことで連絡や相談をしたときに適切な対応を行っていますか。」(3.77) だった。日頃から連絡帳で保護者と細やかな報告・連絡・相談ができていた結果となった。
- ・ <課題> 令和 6 年度と比較して、低くなった項目が⑧「お子さんの主体性が、以前より育ってきたと感じますか。(自分から考えて行動する姿や意思表示、自我の芽生え等)」の 1 項目 (11 項目中) だった。今後、主体性を伸ばすために、教育課程の見直しや ICT を取り入れた授業づくりなどに力を入れていきたい。

3 学校関係者評価委員による評価

- (1) 対象 : 本校の学校関係者評価委員 5 人
 (2) 実施期間 : 令和 7 年 2 月 26 日～3 月 6 日
 (3) 内容 : 7 の評価項目
 (4) 評価方法 : 4 段階評価「4・3・2・1」
 (5) 集計結果 (最終評価) 5 人回答 / 5 人中

4 : そう思う 3 : やや思う 2 : あまり思わない 1 : 思わない

評価項目	観 点	評 定 (平均値)	評価点の内訳 (5 人) 意 見 等
自己評価の実施に関する評価	○ 自己評価のアンケートは重点目標など具体的な目標や計画を評価する内容になっていたか。	4.0	【4. 4. 4. 4. 4】
	○ 自己評価のアンケートの内容は学校の取組を客観的に評価できるものになっていたか。	4.0	【4. 4. 4. 4. 4】
自己評価結果を踏まえた改善策に関する評価	○ 自己評価の結果の分析と考察は適切になされていたか。	4.0	【4. 4. 4. 4. 4】
	○ 自己評価の結果は、学校経営の改善に役立つものになっていたか。	4.0	【4. 4. 4. 4. 4】
	○ 自己評価結果を踏まえた今後の改善策は明確に示されていたか。	4.0	【4. 4. 4. 4. 4】
学校関係者評価委員会に関する評価	○ 学校関係者評価委員会の資料は、分かりやすくまとめてあり不備はなかったか。	4.0	【4. 4. 4. 4. 4】
	○ 学校関係者評価委員会は活発な意見交換を行う環境 (雰囲気) であったか。	4.0	【4. 4. 4. 4. 4】
その他 (自由記述) 評価委員会で知りたいことなどについても御意見をください。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 詳細によって数年前より改善されていると思います。 ・ 細かく丁寧に評価されていると思います。 ・ ただ、職員の負担が大きくなるようにと思います。 ・ 日頃から先生方の児童生徒への関わりと取り組みが子供たちの学校での過ごしやすい環境づくりができていたと感じました。 ・ 参加させて頂き、子供たちの様子を見る機会に恵まれ子供たちの日頃見れない姿や成長を知ることができました。 ・ 娘は学校が大好きなので、子供たちが大好きな学校であるための努力を先生方がたくさんなさっていると感じます。私もそれに少しでも携わることができて光栄でした。 		